

最先端の生命科学研究に触れてみませんか 京都産業大学 総合生命科学部 第3・4回バイオフィォーラム2010

■第3回■7月15日(木)開催

演題

「ムスカリン性アセチルコリン受容体の消化管運動調節
～ノックアウトマウスを武器とした追求～」

講師

岐阜大学

応用生物科学部・応用生物科学科・獣医薬理学分野

小森 成一 教授

腸管の収縮・蠕動を仲介するムスカリン性アセチルコリン受容体はもっぱら M3と言われてきました。しかし、いま、M2や M3ノックアウトマウスを武器とした研究により、M3単独説に修正を迫る証拠など新たな知見が得られつつあります。

そこで、消化管運動についての新たな知見などを講演していただきます。

■第4回■7月16日(金)開催

演題

「シマウマはなぜ縞を持っているのか？」

講師

大阪大学

大学院生命機能研究科 パターン形成研究室

近藤 滋 教授

イギリスの天才数学者アラン・チューリングが50年以上前に発表した、「動物の体は、化学反応の波が作る」という大胆な仮説を手掛かりに、動物の形と模様秘密に迫ります。

チューリングは1952年に、動物の皮膚模様は「波」である、という驚くべき仮説を出しました。そして50年後、皮膚模様が本当に「波」であることが証明されました。チューリングの理論を使えば、シマウマがなぜ縞模様を持っているのかがわかります。そのアツと驚く答えは、、、、、、会場で

《時間》

開場：15時30分～

開演：16時00分～（講演時間：60分）

《場所》

京都産業大学総合生命科学部 15号館 15102 セミナー室

《お問合せ》

京都市北区上賀茂本山 京都産業大学総合生命科学部事務室 Tel. 075-705-1466

《交通》※キャンパス内に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

地下鉄で「国際会館駅」下車→京都バス（40系統）で京都産業大学前下車

地下鉄で「北山駅」下車→京都バス（38系統）で京都産業大学前下車

地下鉄で「北大路駅」下車→市バス（北3号系統）または京都バスで京都産大前下車

《主催》

京都産業大学 総合生命科学部

事前申込不要・入場無料

一般の方の参加歓迎